

第2回マチごとゼロカーボン市民会議 概略

■日 時 2022年9月25日(日) 13:00~17:00

■場 所 所沢市役所 市庁舎高層棟8階大会議室

■出席者 参加市民：44名(欠席8名/早退1名)

話題提供：渡部厚志氏(公共財団法人地球環境戦略研究機関)

中ノ理子氏(イオン株式会社) 日橋忠洋氏(所沢市環境推進員)

横沢正幸氏(早稲田大学) 澁谷正則氏(OECマルシェ株式会社)

所沢市 資源循環推進課・農業振興課

司 会(全体ファシリテーター)：平塚基志氏(早稲田大学)

グループファシリテーター：所沢市職員

グループサブファシリテーター：早稲田大学学生

■実施概要

- 冒頭で第1回の内容の振り返りを行い、前回寄せられた意見や感想を全体で共有した。
- 続いてグループ内で自己紹介を行った。
- その後、以下の2つのテーマについて、話題提供とワークを行った。

ワークの時間では、それぞれのテーマに関する話題提供の後、グループ内で付箋と模造紙を用いて意見交換を行った。ワークは「①ゼロカーボンへのアイデアを考え共有⇒②取り組むにあたっての課題を考え共有⇒③課題への対策を考え共有⇒④全体共有」という4段階で進められた。(テーマごとに4グループずつ発表)

[前半：テーマ1・商品選択からゼロカーボンを考える]

話題提供1 「モノの購入・利用とCO₂」(渡部厚志氏)

—地域の取組例の紹介、社会規範・嗜好とサービスの提供方法を同時に考えることの重要性や、社会的・技術的・制度的な変化が変革に繋がることの説明。

情報提供2 「商品での脱炭素の取組み」(中ノ理子氏)

—PB(プライベートブランド)商品、食品廃棄物削減、プラスチック使用量削減に関する取組内容の紹介。

情報提供3 「もったいない市の取組みについて」(日橋忠洋氏)

—ゴミ減量を目的として市内で実施する「もったいない市」の意義や取組内容の紹介。

情報提供4 「ごみ減量・CO₂削減を考える」(資源循環推進課)

—食品ロスと容器包装プラスチックごみの削減に関し、商品選択と暮らしの工夫の例の紹介。

(ワーク後の発表はグループ2・4・6・8が行い、渡部氏と中ノ氏が講評した。)

[後半：テーマ2・食・農からゼロカーボンを考える]

情報提供5 「農業・食に関する影響・適応・緩和」(横沢正幸氏)

一気候変動が農業に及ぼす影響と、食料の生産と消費を変えることが気候変動の緩和に貢献する可能性があることの説明。

情報提供6 「食と人をつなげる」(澁谷正則氏)

一地産地消や地域での雇用創出により街の活性化を目指す「所沢ローカルファースト事業団」の取組内容の紹介。

情報提供7 「所沢市の農業」(農業振興課)

一市内の農業の現状と、地産地消、環境にやさしい農業等に関する取組の説明。

(ワーク後の発表はグループ1・3・5・7が行い、横沢氏と澁谷氏が講評した。)

以上